

狭山市市営住宅鶉ノ木台団地外壁等改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	—	M-01	機械設備特記仕様書-1	—			
A-01	特記仕様書（改修その1）	—	M-02	機械設備特記仕様書-2	—			
A-02	特記仕様書（改修その2）	—	M-03	系統図	—			
A-03	特記仕様書（改修その3）	—	M-04	立面図	S=1/200 S=1/30			
A-04	案内図・配置図	S=1/250	M-05	平面図・立面図(1)	S=1/150			
A-05	各階平面図・建具表(参考値)	S=1/50 S=1/150	M-06	平面図・立面図(2)	S=1/50 S=1/30			
A-06	立面図・屋根伏図・仕上表	S=1/200 S=1/30						
A-07	立面図・断面図	S=1/200						
A-08	平面図・階段平.立.断面図 バルコニー断面図・各所詳細図	S=1/100 S=1/50.30 S=1/20.10						
A-09	仮設計画図(参考)	S=1/200						



5 建具改修工事 (略)

6 内装改修工事 (略)

7 塗装改修工事

①材料

②下地調整

③素地ごしらえ

④錆止め塗料塗り

⑤塗装

8 耐震改修工事 (略)

(略)

(略)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3]
 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)

塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1~7]
 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す。・図示

下地調整

下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	・A種	—
鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	・A種	—
亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	・A種	—
亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	・A種	—
珪藻土・せっこう板面	・RA種 ※RB種	・A種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・A種	・行う ・行わない
ALCパネル面	・RA種(注)	・A種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種(RC種)	・A種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・A種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	・A種	—

(注)DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。

[7.3.2~7]

下地面等	種類
木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ・ A種 ※B種
鉄鋼面 (DP以外)	・ A種 ・ B種 ※C種
鉄鋼面 (DP)	・ A種 ※B種 ・ C種
亜鉛めっき鋼面	・ A種
珪藻土面及びせっこうプラスター面	・ A種 ※B種
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	・ A種 ※B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	・ A種 ・ B種
コンクリート面 (DPのみ)	・ A種 ※B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地・継目処理工法 ※A種 ・ B種 目地・継目処理工法以外 ・ A種 ※B種

[7.4.2.3]

素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類
SOP	塗替え	A種	※C種
(工程の種類は [表7.4.3])	新規見え掛り	A種	※A種
EP-G	塗替え	A種	※B種
(工程の種類は [表7.4.3])	新規見え隠れ	A種	※B種
DP	塗替え	A種 ※B種	※A種
(工程の種類は [表7.4.4])	新規見え隠れ	A種 ※B種	※B種
新規	7.4.2(1)(f)(b)による	A種 (下地調整RA種) ・ B種 (下地調整RC種) ・ C種 (下地調整RB種)	—
新規	7.4.2(1)(f)(a)による	A種	—

[7.4.2.3]

鉄鋼面	SOP	塗替え	※A種	※B種	※C種
(工程の種類は [表7.4.5])	新規鋼製建具等	※A種	※B種	—	—
EP-G	塗替え	※B種	—	※B種	—
(工程の種類は [表7.4.5])	新規鋼製建具等	C種	—	※A種	—
DP	塗替え	C種	—	※B種	—
(工程の種類は [表7.4.6])	新規	B種	—	—	—

[7.5.2~7.12.2]

塗装の種類	塗装面	塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種
塗料の種類 ※1種・2種	木部屋内	※B種	※B種
・クリヤラッカー塗り(CL)	鉄鋼面	※B種	※B種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	※B種
・有機性塗料塗り(DP)	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種
・クリヤラッカー塗り(CL)	鉄鋼面(上塗り等級(1)級)	—	—
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	鉄鋼面(上塗り等級(2)級)	—	—
・有機性塗料塗り(DP)	鉄鋼面(上塗り等級(3)級)	—	—
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	壁内の木部	※B種	※A種
・ウレタン樹脂ニス塗り(UC)	壁内の鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種
・ステイン塗り	壁内の亜鉛めっき鋼面	※A種	・ B種 ※A種
・木材保護塗料塗り(WP)	壁内のコンクリート面等	※B種	・ A種 ※B種
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(つや有)	コンクリート面	※B種	※B種 ・ A種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(つや有)	壁内の木部	※B種	※A種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(つや有)	壁内の鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(つや有)	壁内の亜鉛めっき鋼面	※A種	・ B種 ※A種
・ウレタン樹脂ニス塗り(UC)	壁内のコンクリート面等	※B種	・ A種 ※B種
・ステイン塗り	壁内の鉄鋼面	※B種	・ A種 ※B種
・木材保護塗料塗り(WP)	壁内の木部	※B種	・ A種

合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり目 [7.9.1]
 ※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程1の下塗りをしきり目シーラーとする

合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり目 [7.10.1]
 ※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程1の下塗りをしきり目シーラーとする

(注)DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種類に注意すること。

工程	規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/m ²)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	1級・2級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
 ・適用しない
 ・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)
 ウレタン樹脂ニス塗りの工程1の着色剤の適用
 ・適用する ・適用しない
 オイルステイン塗りの工程等
 ・製造所の仕様による

9 環境配慮改修工事

1 石綿粉じん濃度測定 [9.1.1]

測定時期	測定名称	測定場所	測定地点
測定1	処理作業前	処理作業室内	(各2点) ()点
測定2	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	(4方向各1点) ()点
測定3	処理作業中	処理作業室内	(各2点) ()点
測定4	処理作業中	排じん・排灰装置の排出口	(各1点) ()点
測定5	処理作業中	排じん・排灰装置の排出口	1m以下位置 (各1点) ()点
測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	(4方向各1点) ()点
測定7	処理作業後(隔日)	処理作業室内	(各2点) (各A3は各1点) ()点
測定8	処理作業後(隔日)	施工区画周辺又は敷地境界	(4方向各1点) ()点
測定9	処理作業後(隔日)	処理作業室内	()点
測定10	処理作業後(隔日)	施工区画周辺又は敷地境界	()点

さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。

測定方法
 測定5のみ ※ペーパークロマト、粉じん相対温度計(ファン付粉じん計)、繊維状粒子自動計測器(9741747(ハネーター)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定

測定5以外は下表による

測定3	測定1,4,7,9	測定2,6,8,10
ノズル径の直径(mm)	25	25
試料の吸引流量(L/min)	※1	※5
試料の吸引時間(min)	※5	※120
		※240

2 石綿含有吹付け材の除去(レベル1) [9.1.3]

除去対象範囲 ・図示
 除去工法 ※[9.1.3](2)(f)による
 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
 ※密封処理 ※温風化 ※固形化
 除去した石綿含有吹付け材等の処分
 ・埋立処分(管理型最終処分場)
 ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)

3 石綿含有保温材等の除去(レベル2) [9.1.4]

除去工法 ※[9.1.4](2)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合)
 除去対象範囲 ・図示
 [9.1.3](2)による(損傷、劣化等で石綿粉塵を発生するおそれがある場合)
 除去対象範囲 ・図示
 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
 ※密封処理 ※温風化 ※固形化
 除去した石綿含有保温材等の処分
 ・埋立処分(管理型最終処分場)
 ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)

4 石綿含有成形板の除去(レベル3) [9.1.5]

除去対象範囲 ・図示
 石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生(負担不要)方法
 ・ビニールシート等による養生を行う
 除去した石綿含有成形板の処分
 ・石綿含有せっこうボード
 ・埋立処分(管理型最終処分場)
 ・埋立処分(安定型最終処分場)
 ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)

5 石綿含有建築用仕上塗料等の除去(レベル3) [9.1.6]

除去対象範囲 ・図示 ・脆弱部等
 施工前の試験施工 ・行う ・行わない
 除去した石綿含有建築用仕上塗料等の飛散防止措置
 ※密封処理 ※温風化 ※固形化
 除去した石綿含有建築用仕上塗料等の処分
 ・埋立処分(安定型最終処分場)
 ・埋立処分(管理型最終処分場)
 ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)

6 PCB含有シーリング材処分

種類	採取する部位・箇所数	備考
・PCB含有シーリング	部位・箇所数	図示
分析調査(第一次判定)	箇所数	図示
・PCB含有シーリング	部位・箇所数	図示
分析調査(第二次判定)	箇所数	箇所

詳細は監督員との協議による

7 外断熱改修工事 [9.2.1~4]

断熱材の種類()厚さ(mm)施工箇所()図示
 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
 外装材の種類()厚さ(mm)図示

種類	防火性能	備考
鋼材	改修特記仕様書第8章	8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。
鉄骨	改修特記仕様書第3章	・アルミニウム製鉄骨による。
既存外壁の処置		・既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない ・下地面の清掃 ・行う ・行わない ・欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外装改修工事による

建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
 不陸等の下地調整
 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による
 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による
 適気層の有無 ・あり(mm) ・なし
 外装材の外壁への取付け ・図示
 鉄骨の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製鉄骨による

8 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
 工法
 ・断熱材打込み工法
 ・断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
 種類
 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30
 施工箇所 ・ 図示
 ・断熱材現場発泡工法
 断熱材の種類 ※A種1 ・ A種1H
 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30
 施工箇所 ・ 図示
 ・断熱材張り工法
 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
 種類 ・ 厚さ(mm) ・
 ・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用
 材質 ・ 厚さ(mm) ・
 ・張り付け工法
 断熱材の張り付け工法
 断熱材へのボードの張付け工法

9 屋上緑化改修工事 [9.4.2~4]

植栽基盤及び材料
 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示
 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示

工法
 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
 かん水装置 ・設置する(種類)
 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない
 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年

10 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2~5.9]

適用範囲：歩道
 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 建設汚泥から再生した処理土	・図示
・凍上抑制層	・再生クラッシュアスファルト ・ クラッシュラン ・切込み砂利	・図示
・フィルター層	・砂(改修標準仕様書9.5.11による)	・図示

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)
 ・行う ・行わない

・路床安定処理 ・適用する ・適用しない
 安定処理の方法 ・置き換え工法() ・安定処理工法
 路床安定処理用添加材料の種類
 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種
 ・フライアッシュセメントB種
 ・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号)
 添加量 ()kg/m³(目標CBR ※3以上)
 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験
 ・ジオテキスタイル
 単位面積質量 ・60g/m²以上
 厚さ(mm) ・0.5~1.0
 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上
 透水係数 ・1.5×10⁻³cm/sec以上

試験
 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない
 現場CBR試験 ・行う ・行わない
 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない
 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない

路盤
 路盤の構成及び厚さ ・図示
 路盤材料(改修標準仕様書9.7.3による種別)
 ・クラッシュラン
 ・粒度調整砕石
 ・再生クラッシュラン
 ・再生粒度調整砕石
 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ
 ・粒度調整鉄鋼スラグ
 ・水溶性粒度調整鉄鋼スラグ

舗装の構成
 舗装の平た性 ※著しく不陸がないもの
 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

11 舗装版切断時に発生する濁水の処理(舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)

濁水の処理
 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
 種類及び処理量 ・図示による
 処理方法
 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却含む)
 ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入(処理に焼却含む)
 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。

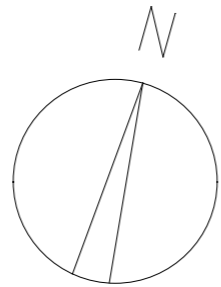
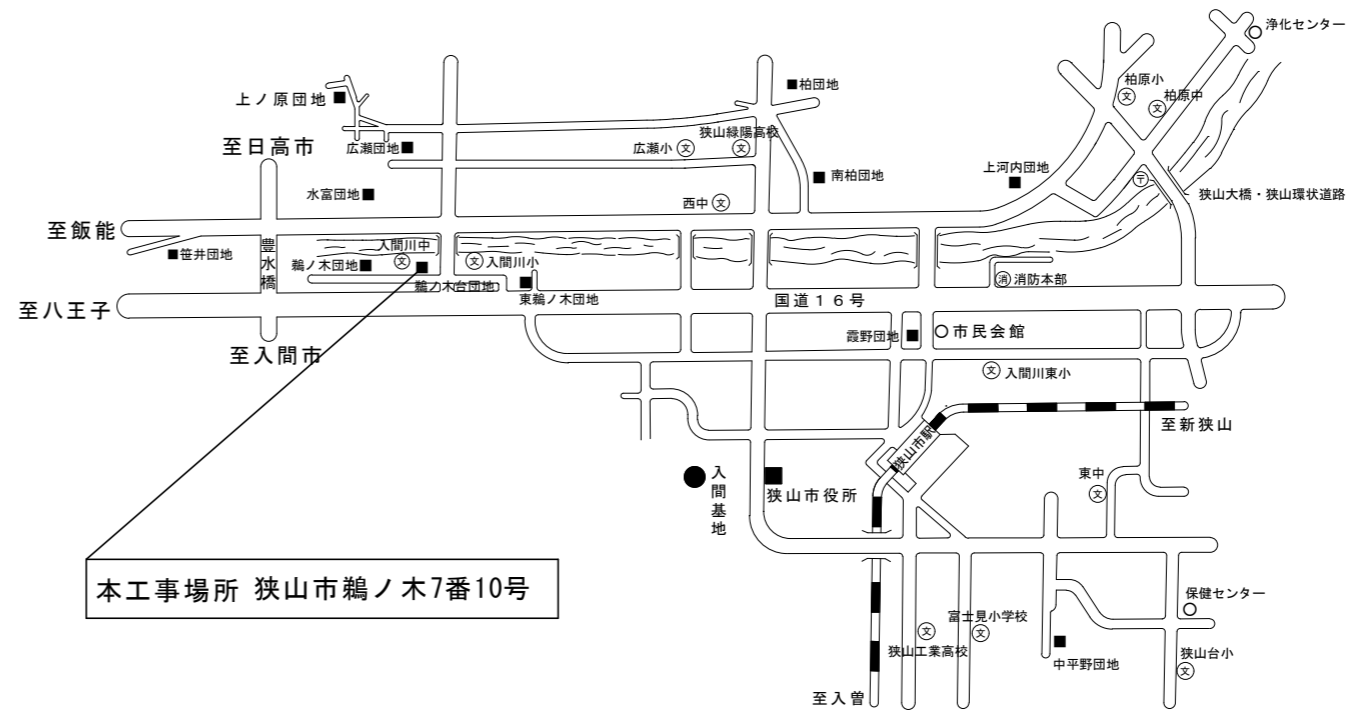
共通事項
 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。

提出書類等
 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。
 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

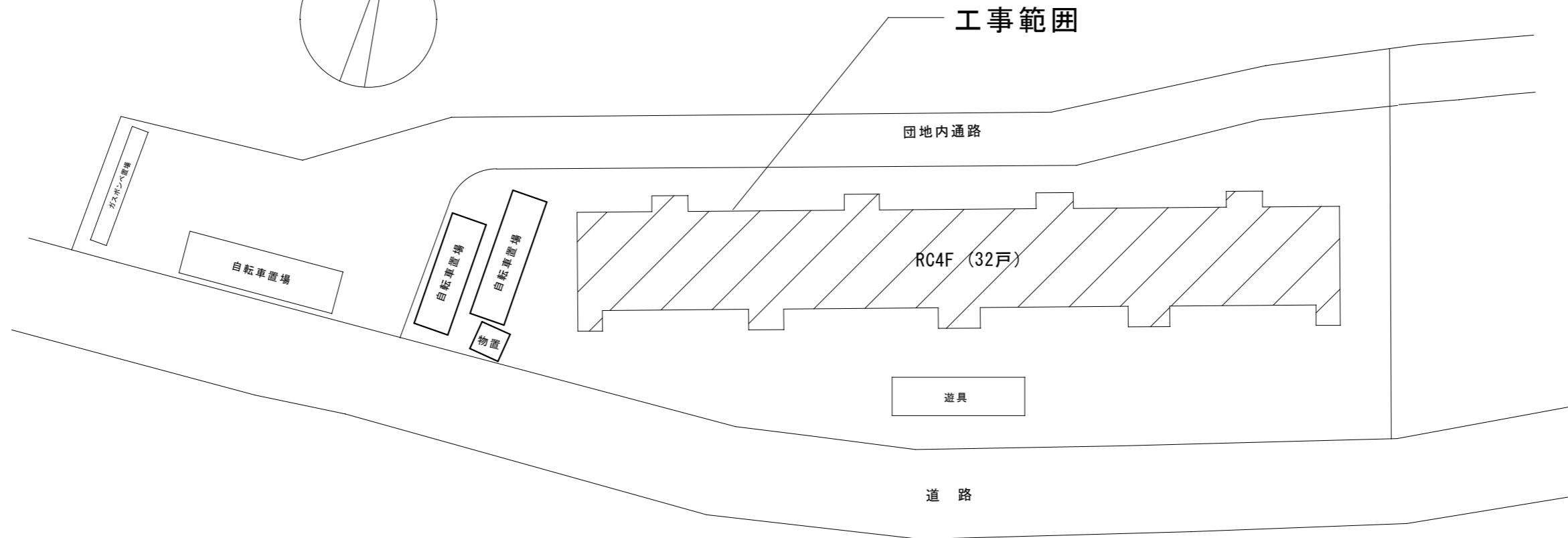
10 鉄筋工事 (略)

11 コンクリート工事 (略)

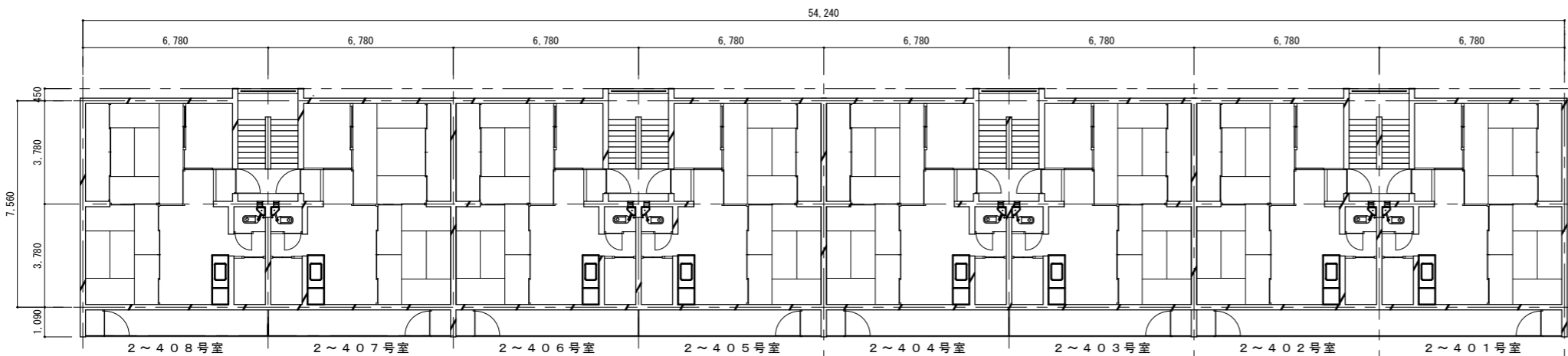
【案内図 N.S】



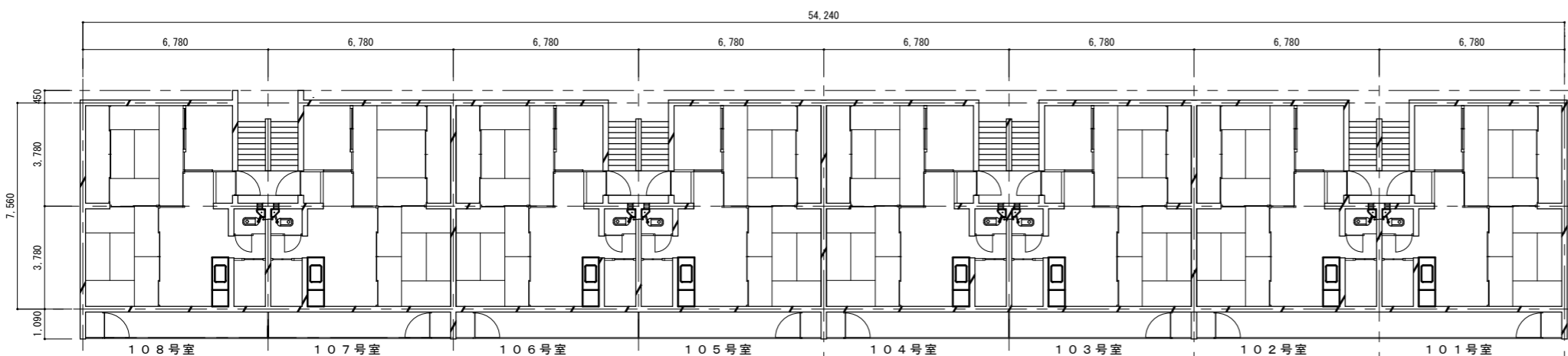
工事範囲



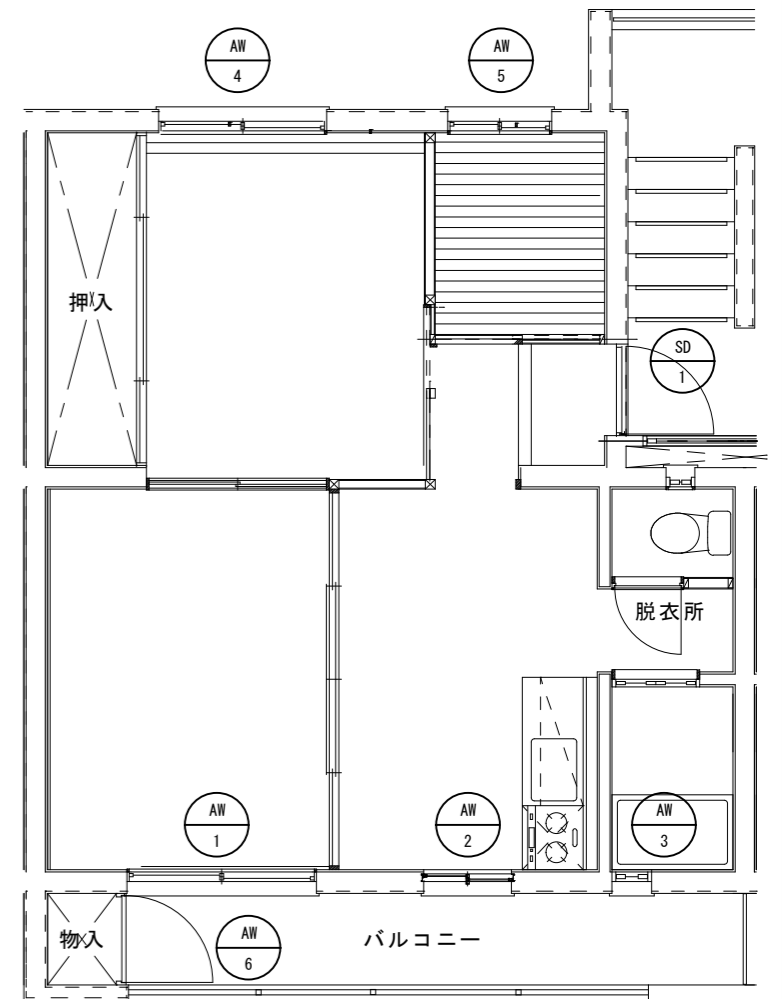
【配置図 1/250】



2階～4階平面図 S=1:150



1階平面図 S=1:150



平面図 S=1/50

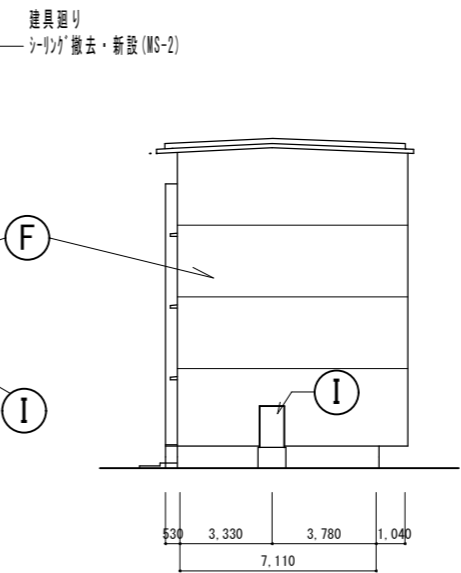
建具	寸法	面積 (㎡)	周長 (m)	数量	シール打換え	備考
AW-1	1,700 × 1,750	2.975	6.900	32	○	
AW-2	820 × 900	0.738	3.440	32	○	
AW-3	280 × 1,500	0.420	3.560	32	○	
AW-4	1,500 × 1,300	1.950	5.600	32	○	
AW-5	900 × 900	0.810	3.600	32	○	
AW-6	800 × 950	0.760	3.500	32	○	
SD-1	800 × 1,900	1.520	5.400	32		DP(1級)塗装片面
階段室物置扉	600 × 600	0.360	2.400	4		DP(1級)塗装片面
PS扉	1,950 × 2,310	4.505	8.52	16		DP(1級)塗装片面

建具表(参考値)

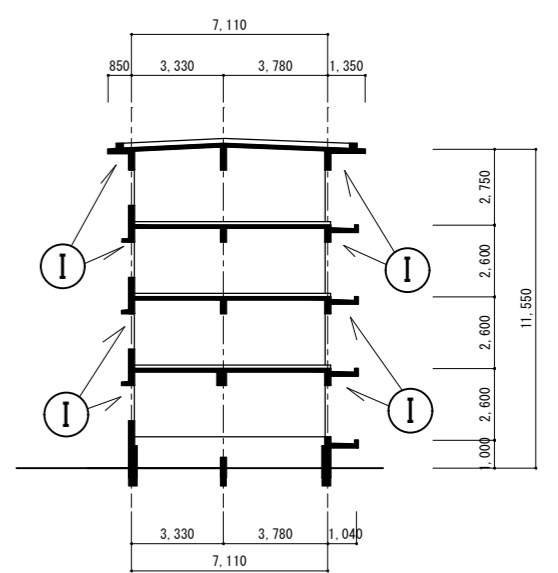




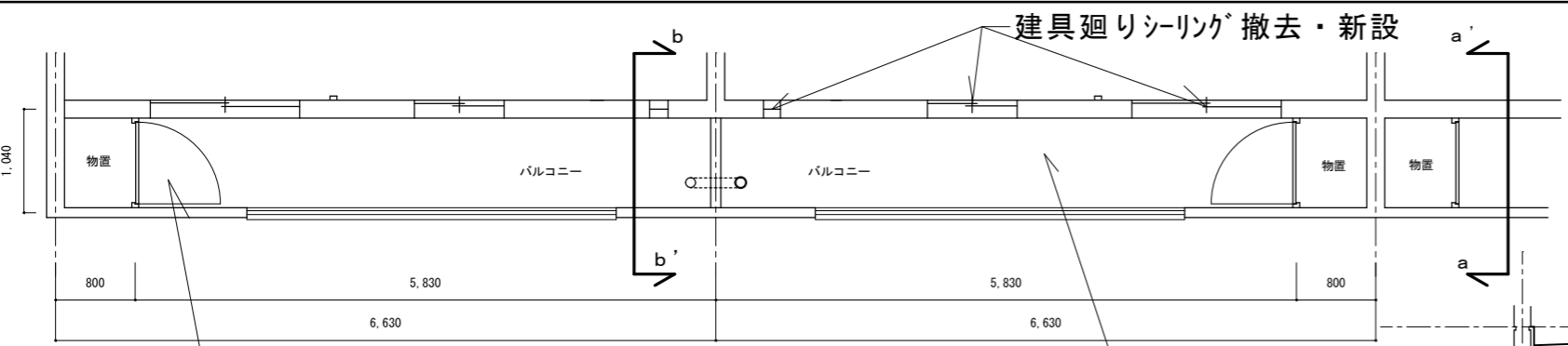
南立面图 S=1/200



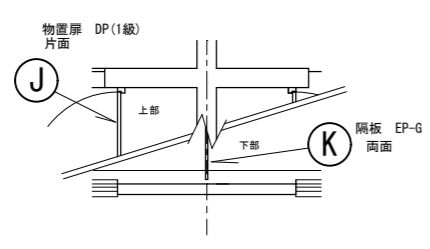
西立面图 S=1/200



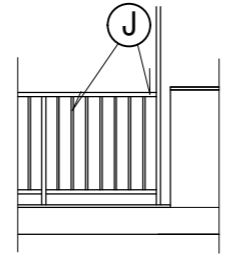
断面图 S=1/200



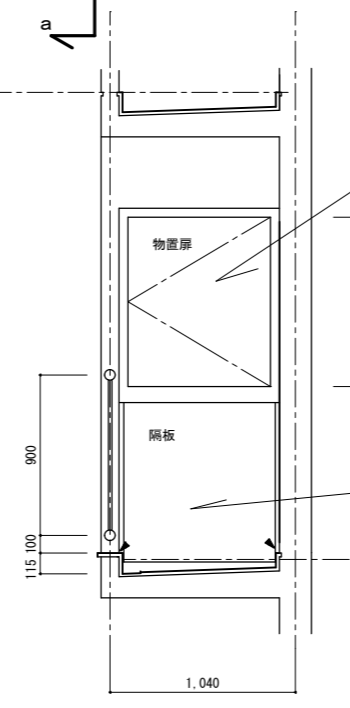
平面図 S=1/50



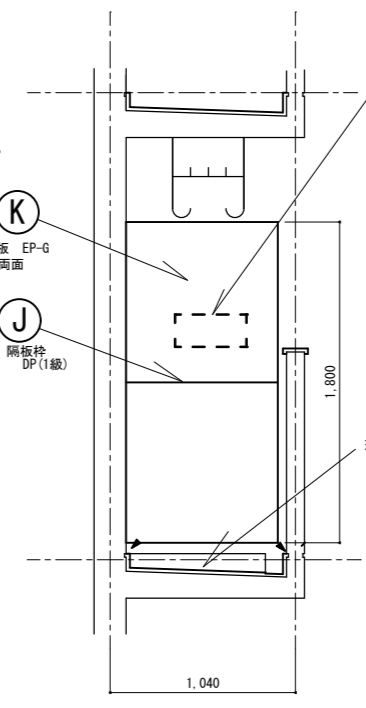
物置詳細図 S=1/50



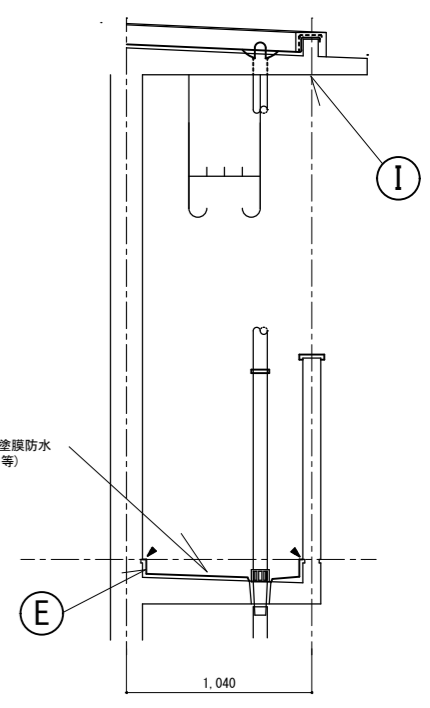
バルコニー手すり詳細図 S=1/50



a-a' 断面



b-b' 断面

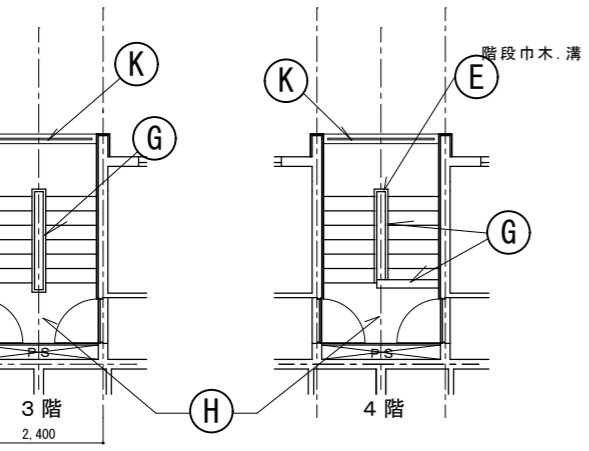
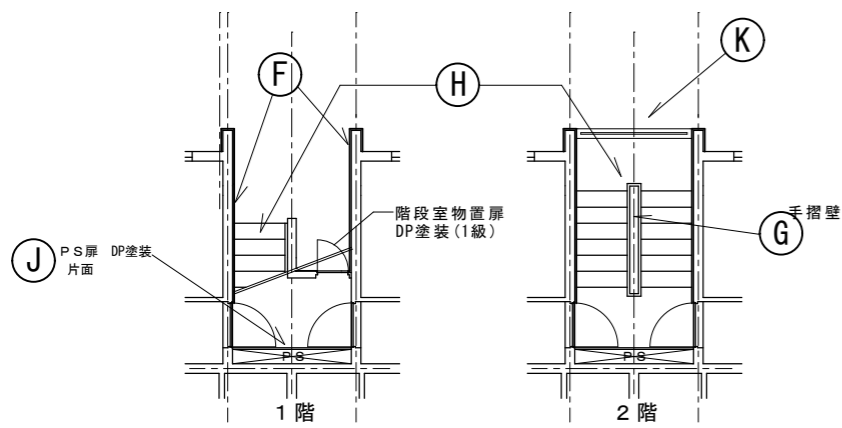


b-b' 断面 (4階)

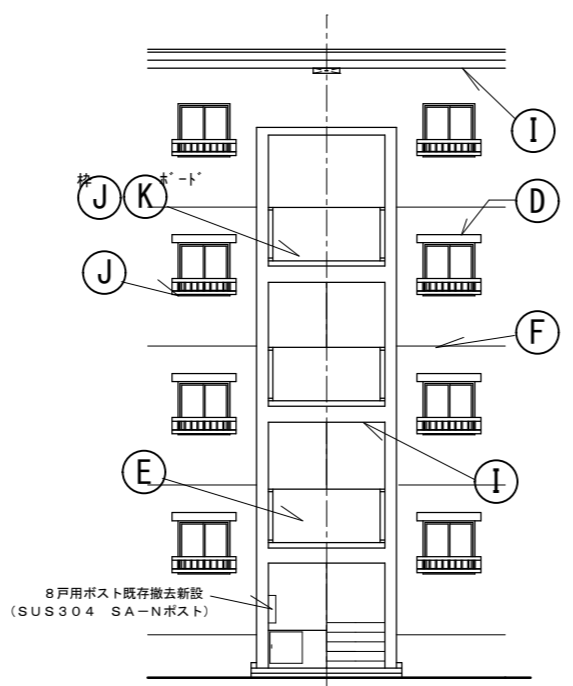
バルコニー隔て板避難表示(参考)
非常の際には、ここを破って隣戸へ避難出来ます
非常口となりますので物等を置かないでください。

※スプレー等の塗装による表示
参考型番：避難文字吹付板 SK-6

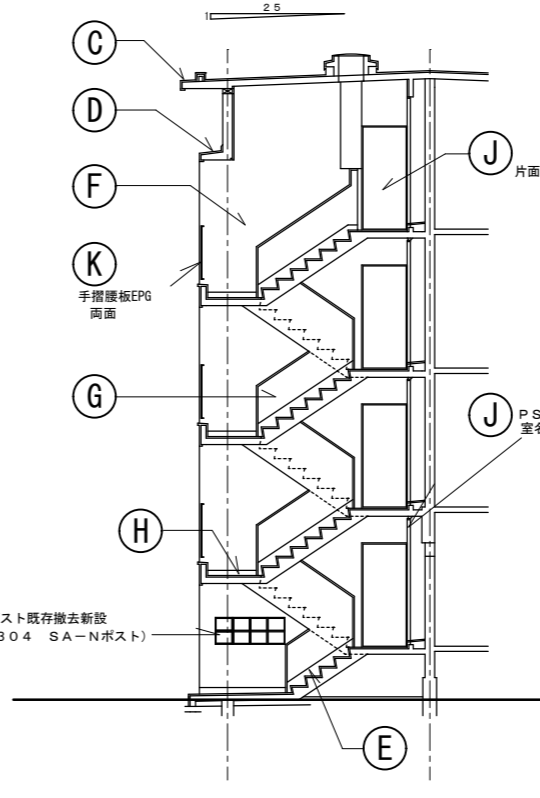
バルコニー一部断面図 S=1/30



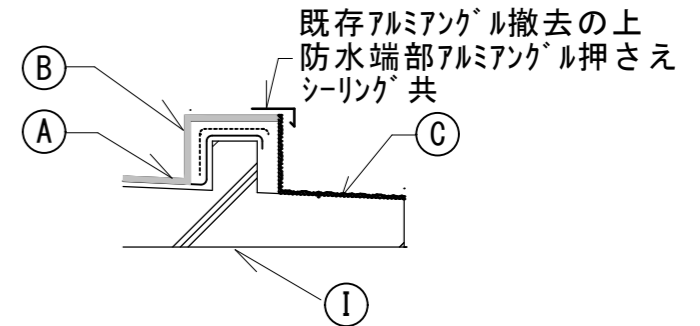
階段部平面図 S=1/100



階段部立面図 S=1/100

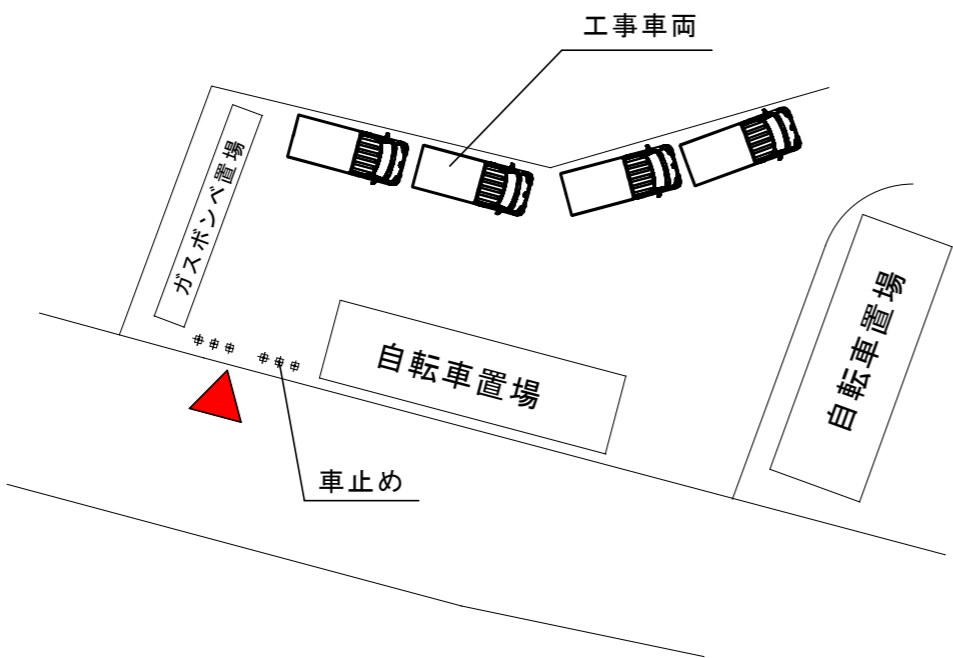





階段部断面図 S=1/100

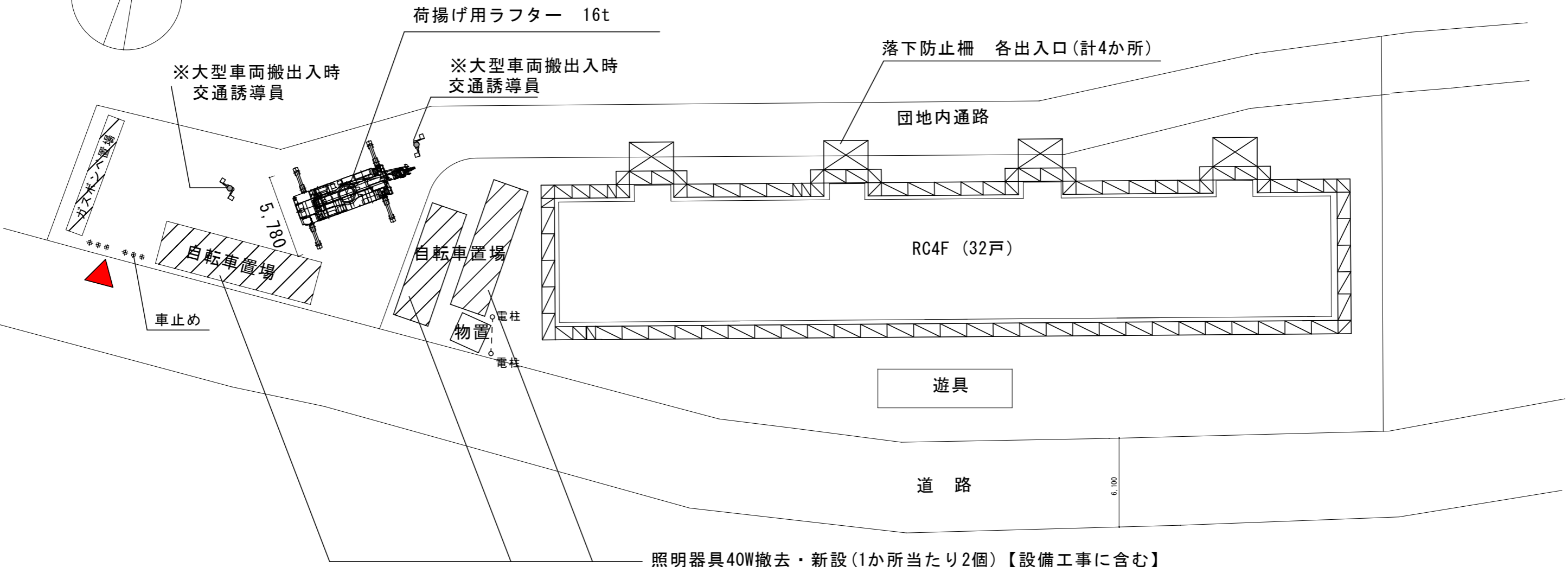
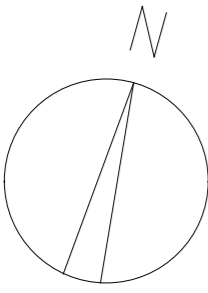


軒先改修図 S=1/10



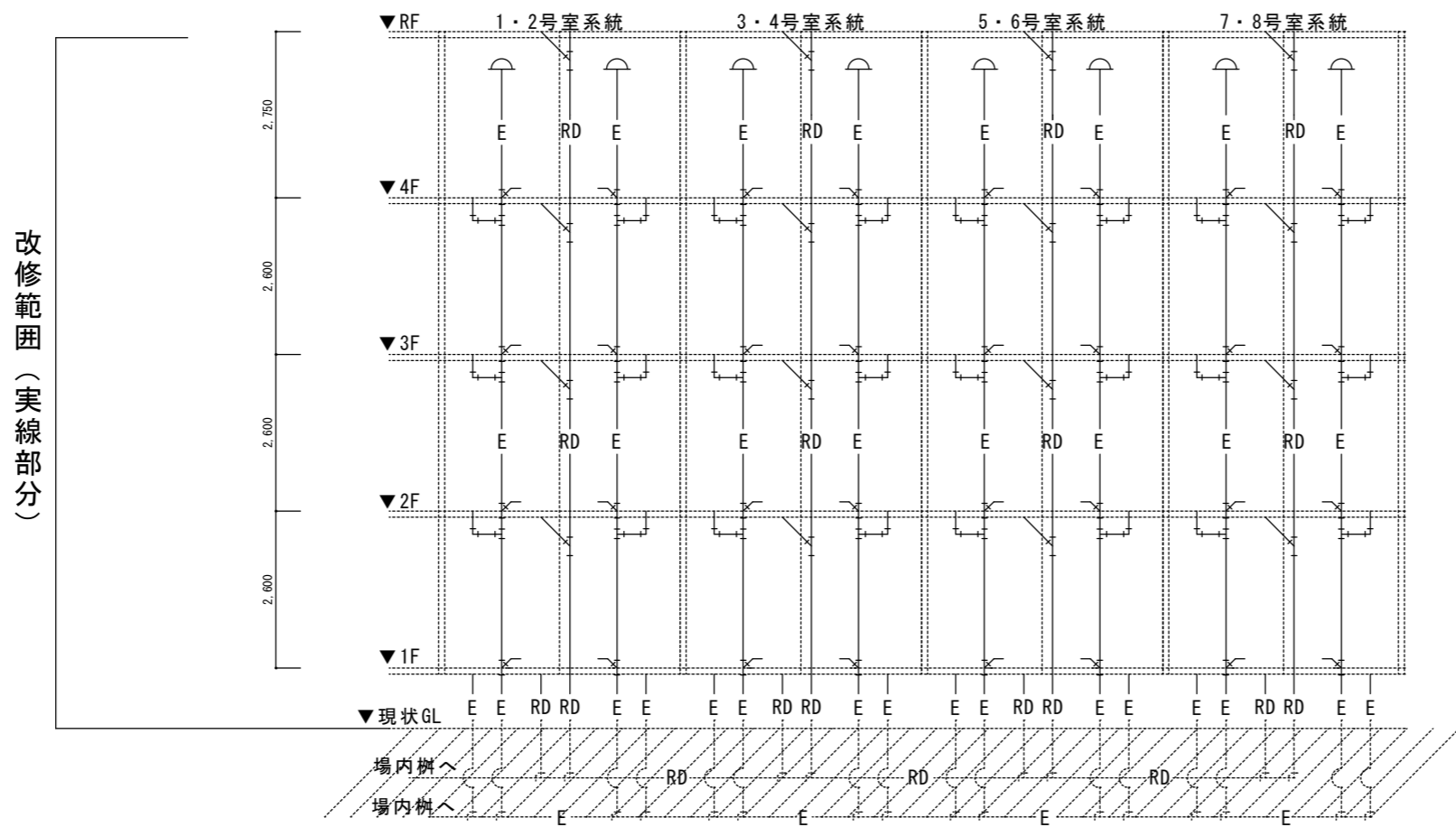


- 凡例
-  ...ケレン・緊結式足場W W900
ネット養生シート張り(防災)
※最下部 金網敷養生柵
養生・整理清掃後片付け共
電線と外部足場が接近する箇所には
防護管を設置すること
 -  ...外部落下養生
 -  ...CB : 可とう型薄塗材RE(下地調整共)
鉄部 : ケレン・錆止めのうえDP(1級)塗装

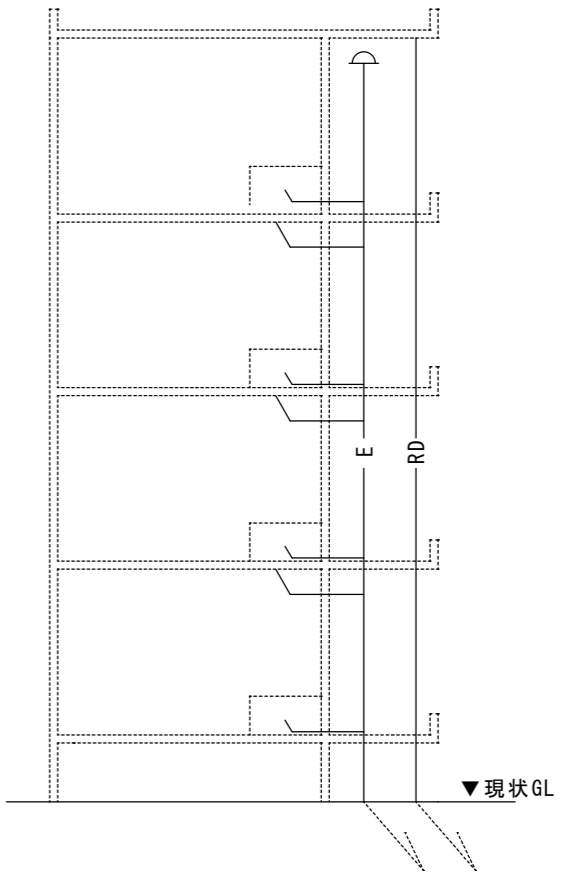


	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>12 騒音装置</p> <p>・女子用トイレブースに設置する。(・本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(・本工事 ・別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(・本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。</p> <p>13 そ の 他</p>	<p>2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ・掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙仕様による。</p>																																																																																																												
<p>○ 空 気 調 和 設 備</p> <p>1 設計温湿度</p> <table border="1" data-bbox="222 252 756 357"> <tr> <td></td> <td colspan="4">外 気</td> <td colspan="4">屋 内</td> </tr> <tr> <td></td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28 ℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20 ℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p> <p>2 総合試運転調整</p> <p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない</p> <p>3 煙 道</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない</p> <p>4 煙 突</p> <p>※別途 ・本工事</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・換気用耐火二層管 (大径認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>11 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管V Pドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (JIS A 1010「AC」相当品) ・耐火二層管V P (F D P S - 1) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管V P (消防協議事項：ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。)</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・</p> <p>12 弁 類</p> <p>規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>13 温 度 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>14 圧 力 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>15 瞬間流量計</p> <p>瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。</p> <p>16 油面制御装置</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。制御盤には (※給油ポンプ制御 ※減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>17 冷却塔</p> <p>※直交流式 ・向流型 ※レジオナ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>		外 気				屋 内					温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28 ℃	%	℃	%	℃	%	冬 期	0.6℃	50.7%	20 ℃	%	℃	%	℃	%	<p>○ 換 気 設 備</p> <p>1 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・耐火二層換気管又は耐火V P ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留し (1) 防煙ダンパーを。復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>6 多選管所の排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (V U) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火V P) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(口) ・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽部ダクト (仕様はh・(イ) ・IXとし範囲は図示による)</p> <p>8 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p> <p>○ 排 煙 設 備</p> <p>1 ダ ク ト</p> <p>※亜鉛鉄板 ・</p> <p>2 排煙口の形式</p> <p>※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)</p> <p>3 排煙口手動開放装置</p> <p>開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>○ 自 動 制 御</p> <p>1 中央監視制御装置</p> <p>・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能</p> <p>図示による</p> <p>3 電気計装用機材</p> <p>使用する電線及びケーブルは、原則としてE M電線またはE Mケーブルとする。屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>○ 衛 生 器 具 設 備</p> <p>1 小便器節水装置</p> <p>J I S B 2026 (自動水栓) による電気閉閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>2 バリアフリー対応</p> <p>・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 (・照明無 ・照明付)</p> <p>3 衛生器具付属水栓</p> <p>(1) 器具付属止水水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>4 自動水栓類の電源</p> <p>※A C 1 0 0 V ・乾電池等 ・自己発電</p> <p>5 暖房便座</p> <p>(1) J I S A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・A C 1 0 0 V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水 I 型 ・節水 II 型とする。 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・電気閉閉式 (※センサー式 ・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>7 大便器耐火カバー</p> <p>※設ける (ピット内は除く) ・設けない</p> <p>8 掃除流し</p> <p>※共栓なしとする。 ・共栓付とする。</p> <p>9 排水器具用ゴミ継手</p> <p>※使用できる ・使用できない</p> <p>10 標 記 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>11 水せつけん入れ</p> <p>せつけん供給栓がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。</p> <p>○ 給 水 設 備</p> <p>1 配管材料</p> <table border="1" data-bbox="1617 178 2151 756"> <tr> <td></td> <td>施 工 箇 所</td> <td>管 種 別</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上 水 配 管</td> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 水 配 管</td> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・G X管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 水 配 管</td> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン</td> </tr> <tr> <td>居室住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 水 配 管</td> <td>便所天井内、P S内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 水 配 管</td> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 水 配 管</td> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 水 配 管</td> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 水 配 管</td> <td>便所天井内、P S内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 水 配 管</td> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. SUSとは、J I S G 3448 またはJ W M G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・ダブ) 又は ※拡張) 便所 ・廊下流し廻り露出配管 (※拡張) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、J V8-IIによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、該接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接続する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用柵を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きめの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※親メーター (※貸与品 ・) ・子メーター (※買取り ・)</p> <p>5 量水器柵</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図M C形</p> <p>6 弁 類</p> <p>規格はJ I S又はJ Vとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p> <p>○ 排 水 設 備</p> <p>1 配管材料</p> <table border="1" data-bbox="1617 766 2151 1344"> <tr> <td></td> <td>施 工 箇 所</td> <td>管 種 別</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">雑 排 水 配 管</td> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>・耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">汚 水 配 管</td> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/カ-球 抄塗装鋼管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">汚 水 配 管</td> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">共 通</td> <td>地中埋設部</td> <td>・RS-V U又はリサイクルV U ・V U ・卵形管 (ゴム継手) ・REP-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">通 気 配 管</td> <td>その他の部分</td> <td>・リサイクルV P又はRF-V P ※V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJ I S K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-V P、RS-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部は45度で行う。</p>		施 工 箇 所	管 種 別	上 水 配 管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管	中 水 配 管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・G X管	地中埋設部 (水道直結部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン	中 水 配 管	地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン	居室住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)	中 水 配 管	便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	中 水 配 管	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管	中 水 配 管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管	湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管	中 水 配 管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン	地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン	中 水 配 管	便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	中 水 配 管	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管		施 工 箇 所	管 種 別	雑 排 水 配 管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・SGP (白) ・	厨房等の温排水	・耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・SGP (白)	汚 水 配 管	耐火性能を要求される箇所	・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/カ-球 抄塗装鋼管	汚 水 配 管	耐火性能を要求される場所	・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	その他の部分	・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	共 通	地中埋設部	・RS-V U又はリサイクルV U ・V U ・卵形管 (ゴム継手) ・REP-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・SGP (白)	通 気 配 管	その他の部分	・リサイクルV P又はRF-V P ※V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>○ 給 湯 設 備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管 (M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</p> <p>2 絶縁フランジ</p> <p>取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、J V8-IIによる。</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器</p> <p>※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p> <p>○ 消 火 設 備</p> <p>1 配管材料</p> <p>屋内消火栓用 一般配管※S G P (白) ・S T P G 370 (白) Sch40 地中埋設※S G P - V S ・H I V P 消火用 一般配管※S G P (白) ・S T P G 370 (白) Sch40 地中埋設※S G P - V S ・H I V P ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 不活性ガス消火用 ※S T P G 370 (白) Sch40 ・S T P G 370 (白) Sch80</p> <p>2 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>○ ガ ス 設 備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はP E管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆銅管 ・SGP (白) 地中埋設 ※P E管</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p> <p>○ 厨 房 設 備</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>2 シンク用水栓</p> <p>※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p> <p>標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書</p> <p>第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m3 ・中間処理施設 市 地内、(株) ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む)</p> <p>第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 2 受注者は、汚泥の中間処理場の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>
	外 気				屋 内																																																																																																											
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																																																								
夏 期	36.9℃	46.1%	28 ℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																								
冬 期	0.6℃	50.7%	20 ℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																								
	施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																														
上 水 配 管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管																																																																																																														
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管																																																																																																														
中 水 配 管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・G X管																																																																																																														
	地中埋設部 (水道直結部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン																																																																																																														
中 水 配 管	地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン																																																																																																														
	居室住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)																																																																																																														
中 水 配 管	便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																																																														
	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																																														
中 水 配 管	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																														
	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管																																																																																																														
中 水 配 管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管																																																																																																														
	湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管																																																																																																														
中 水 配 管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン																																																																																																														
	地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・高密度ポリエチレン																																																																																																														
中 水 配 管	便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																																																														
	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																																														
中 水 配 管	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																														
	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管																																																																																																														
	施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																														
雑 排 水 配 管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・SGP (白) ・																																																																																																														
	厨房等の温排水	・耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・SGP (白)																																																																																																														
汚 水 配 管	耐火性能を要求される箇所	・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																														
	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/カ-球 抄塗装鋼管																																																																																																														
汚 水 配 管	耐火性能を要求される場所	・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																														
	その他の部分	・RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																														
共 通	地中埋設部	・RS-V U又はリサイクルV U ・V U ・卵形管 (ゴム継手) ・REP-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																														
	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・SGP (白)																																																																																																														
通 気 配 管	その他の部分	・リサイクルV P又はRF-V P ※V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																														
	<p>狭山市鶯鶯ノ木台団地外壁等改修工事</p>	<p>お茶室のまち 狭山市 〒390-1380 埼玉県狭山市入間川1丁目23番5号 TEL: 04-2953-1111 (代) E-mail: kokyo-mg@city.saitama.jp</p>	<p>機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 - 2</p>	<p>N/S</p> <p>M-02</p>																																																																																																												

凡例	
雑排水管	— E —
雨水排水管	— RD —



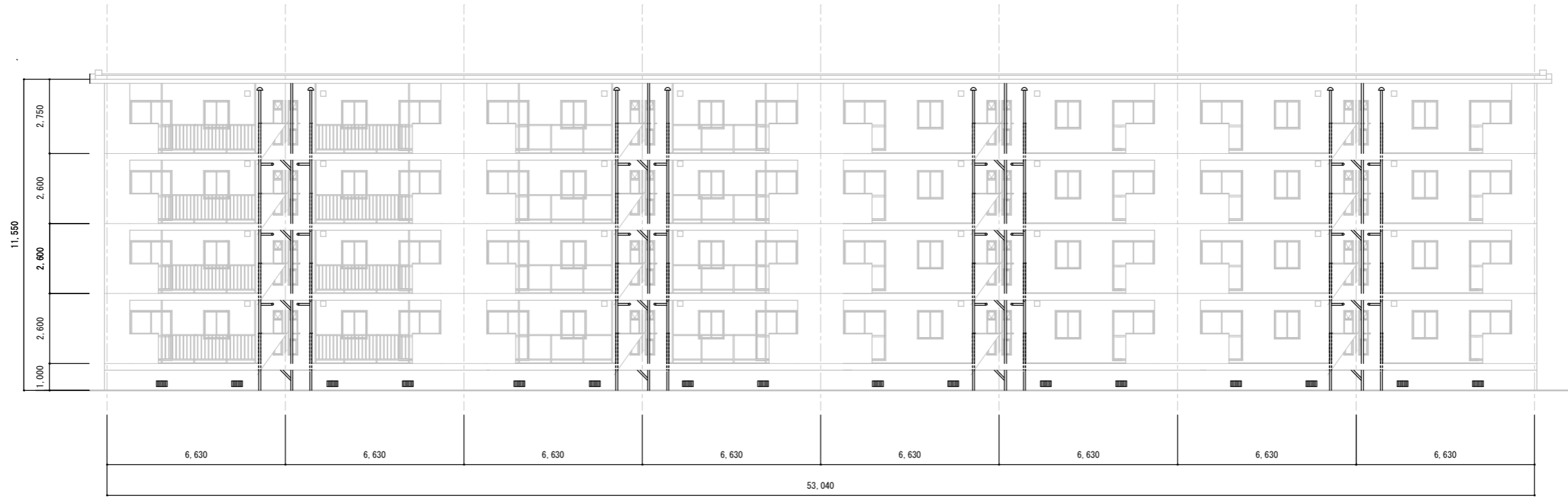
雑排水管・雨水排水管 系統図



排水系統断面イメージ図
(改修範囲：実線部)

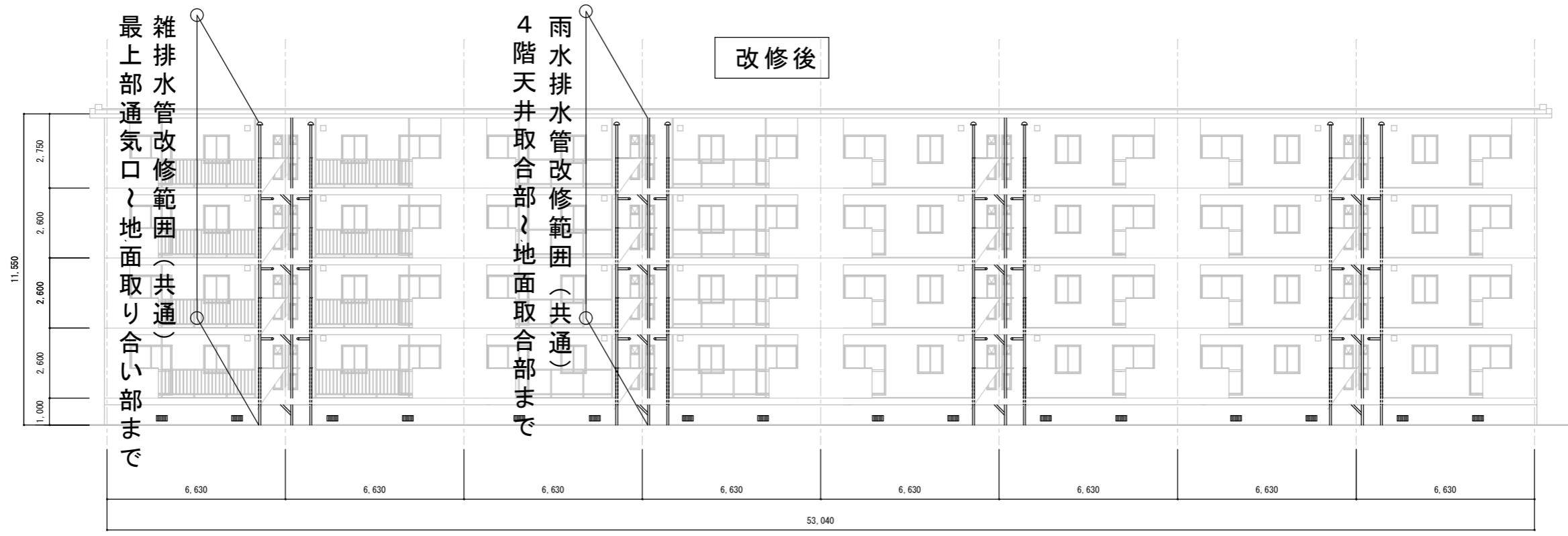
改修範囲
(実線部分)

改修前



南立面図 S=1/200

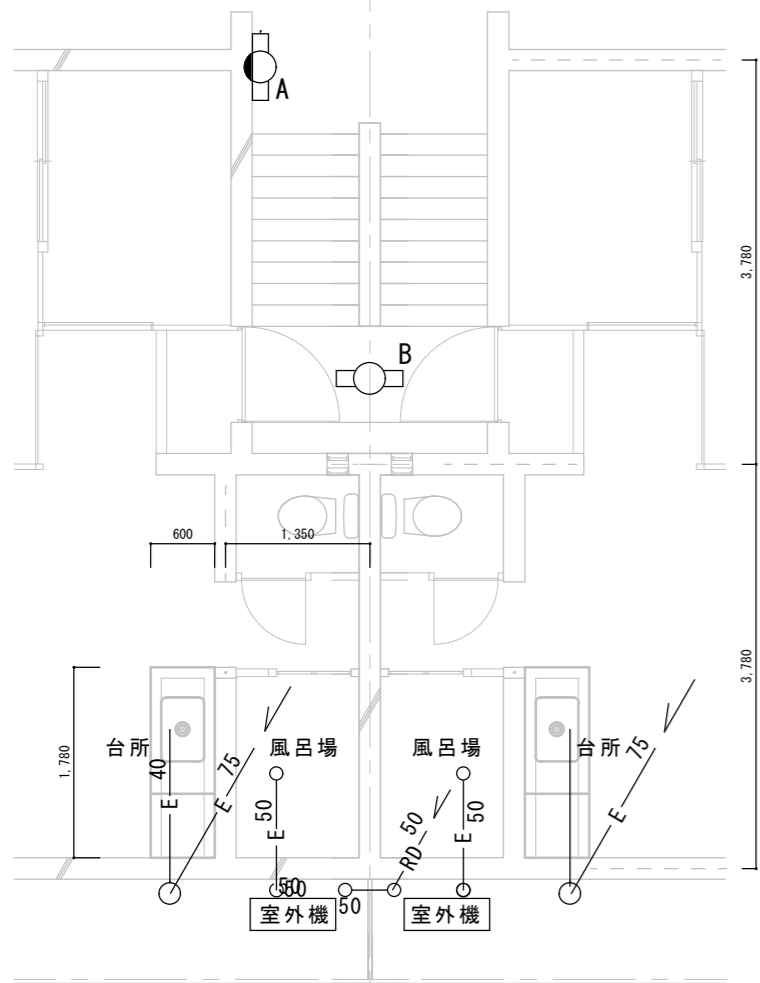
改修後



南立面図 S=1/200



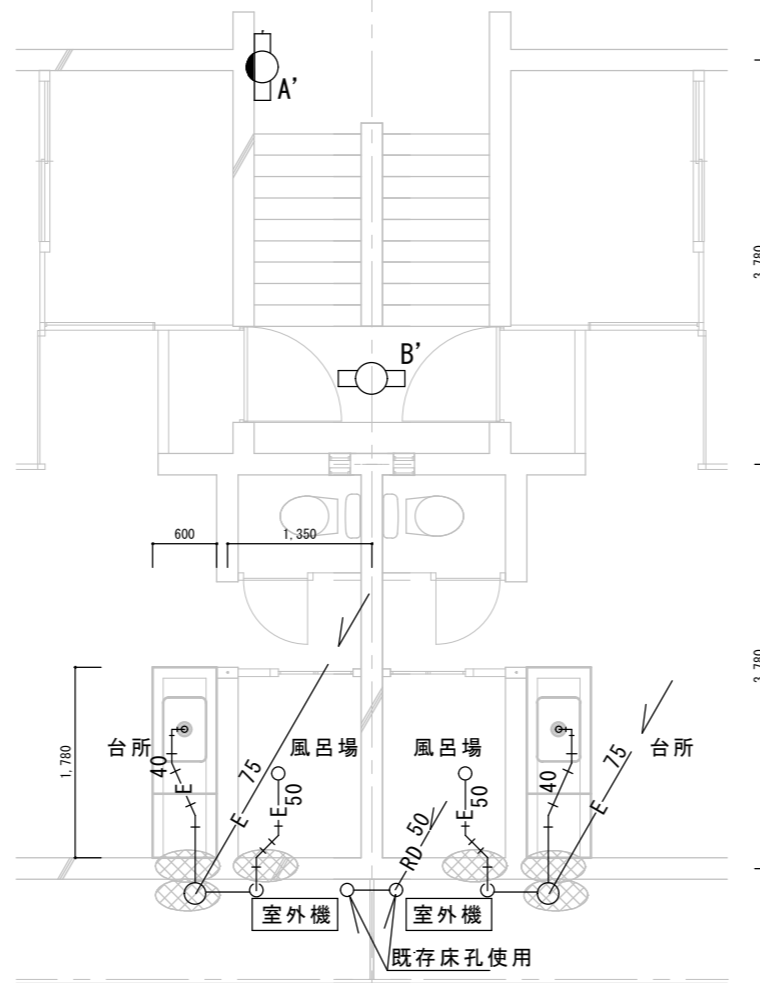
改修前



1階平面図 S=1:50

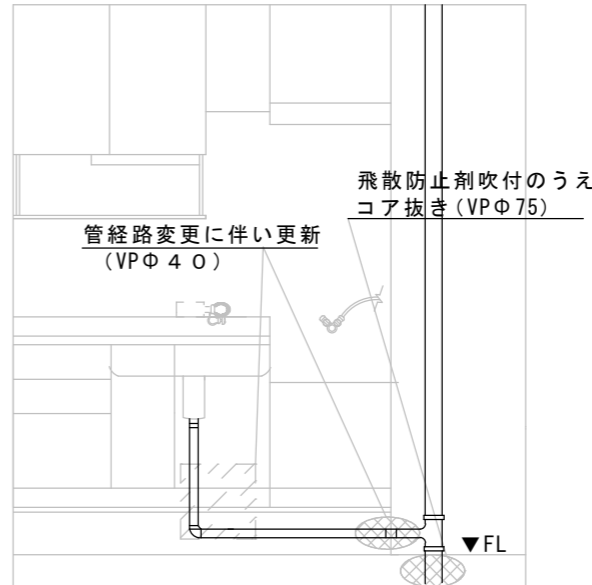
部位・記号	仕様
雑排水管	— E — 排水用鋳鉄管
雨水排水管	— RD — VP管
点線部	既存配管
階段室出入口灯 (防水型) 【撤去】	A 20形定格出力タイプブラケットWP
階段室灯 【撤去】	B 直付型20形

改修後

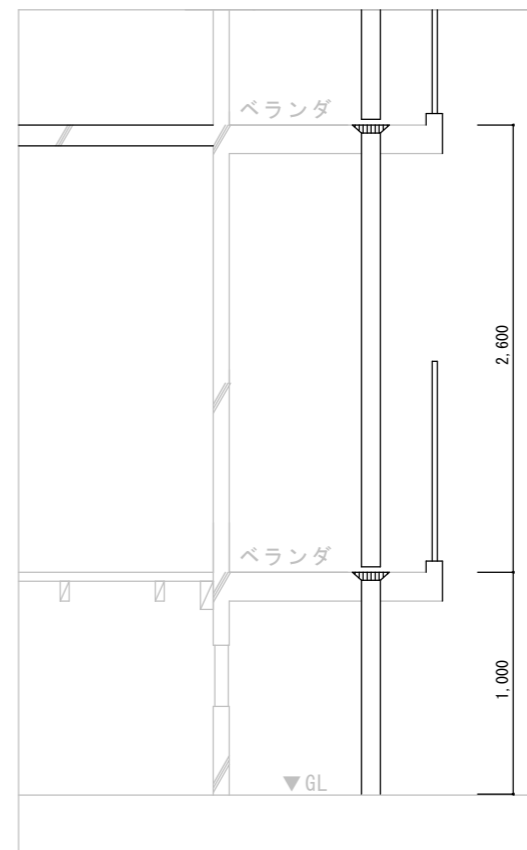


1階平面図 S=1:50

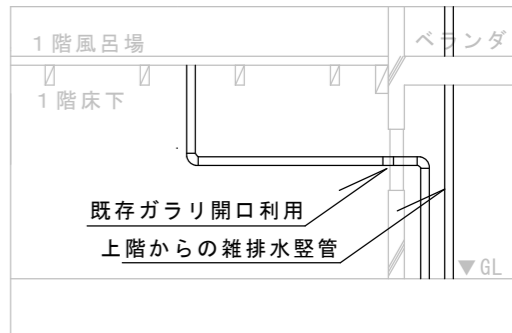
部位・記号	仕様
雑排水管	— E — VP管 仮設管・新設管設置時に床面コア抜き
雨水排水管	— RD — VP管
	はつり補修 コア抜き (ベランダ床面は飛散防止剤吹付のうえ施工) 雑排水管・壁: Φ40、Φ50 雑排水管・床: Φ75
	開口補修部分 排水管一部撤去新設に伴う流し台開口部補修
点線部	既存配管
階段室出入口灯 (防水型) 【新設】	A' 【新設: LBF3MP/RP-4-20】
階段室灯 【新設】	B' 【新設: LSS1-2-15】



雑排水管 (流し台) イメージ図



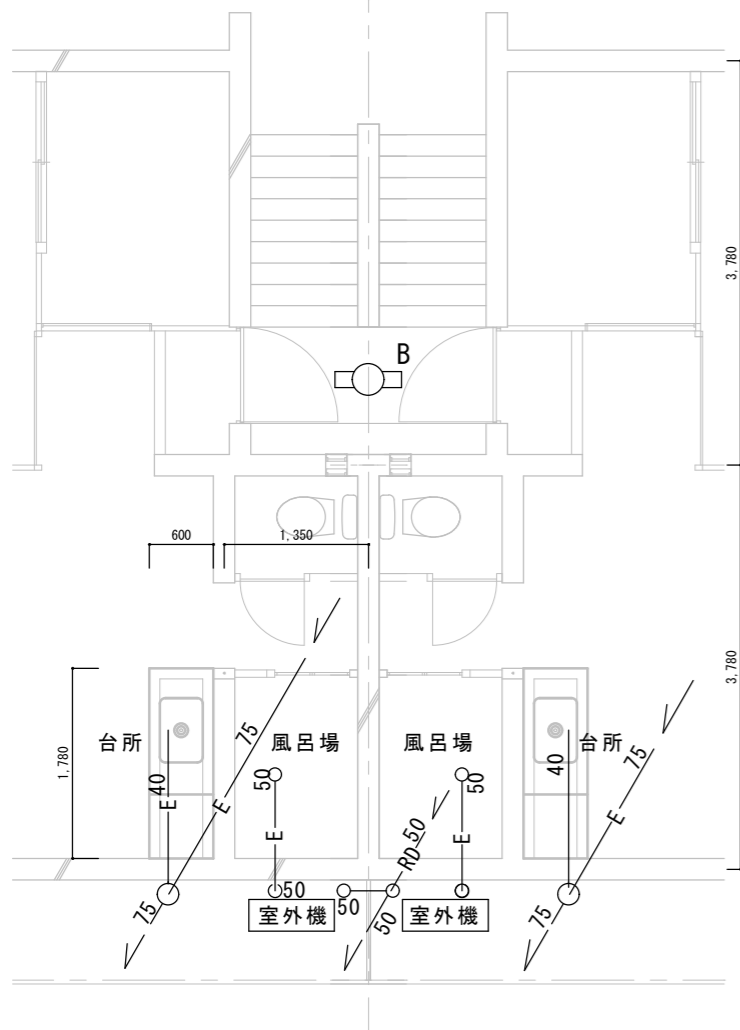
雨水排水管 イメージ図



雑排水管 (浴室) イメージ図

A	20形定格出力タイプブラケットWP 「撤去」	4台
A'	20形定格出力タイプブラケットWP	4台
	【新設: LBF3MP/RP-4-20】 	
B	階段室灯直付型20形 「撤去」	4台
B'	階段室灯直付型20形	4台
	【新設: LSS1-2-15】 	

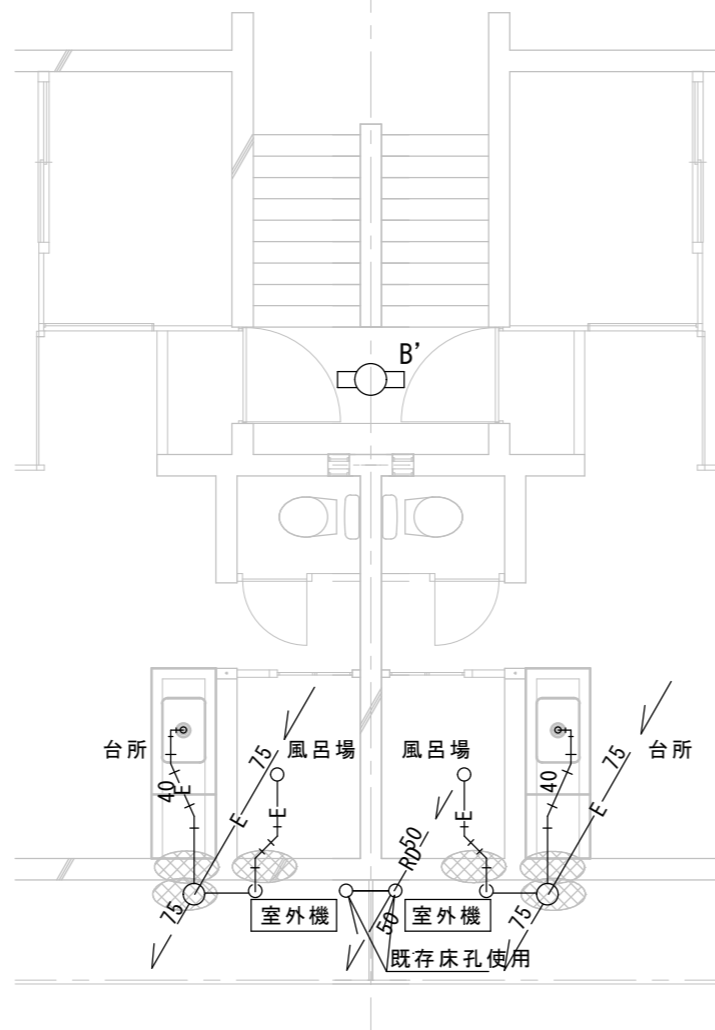
改修前



2階～4階平面図 S=1:50

部位・記号	仕様
雑排水管 — E —	排水用錆鉄管
雨水排水管 — RD —	VP管
点線部	既存配管
階段室灯【撤去】	直付型20形

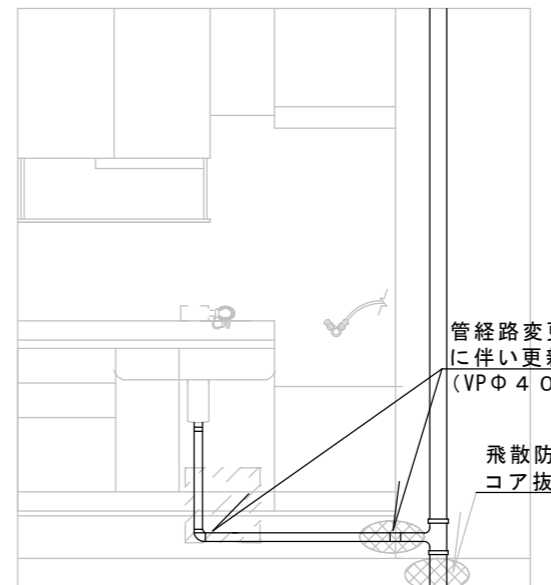
改修後



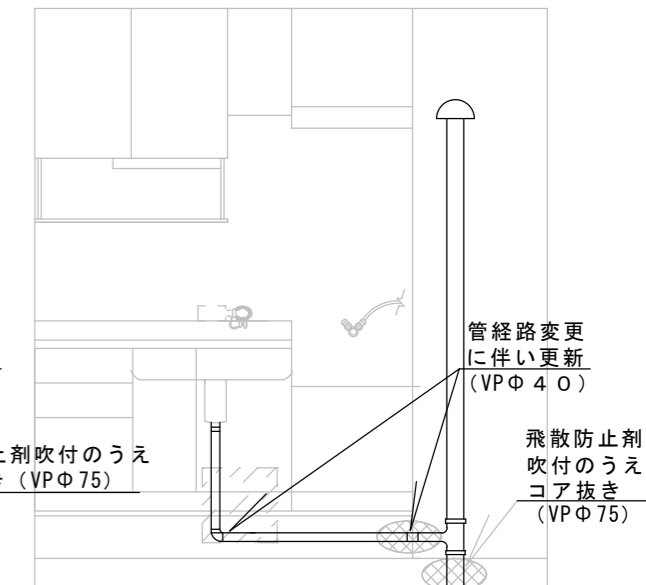
2階～4階平面図 S=1:50

部位・記号	仕様
雑排水管 — E —	VP管 仮設管・新設管設置時に床面コア抜き
雨水排水管 — RD —	VP管
はつり補修コブ抜き (ヘラン)	床面は飛散防止剤吹付のうえ施工
雑排水管・壁: φ40、φ50 雑排水管・床: φ75	
開口補修部分 排水管一部撤去新設に伴う流し台開口部補修	
点線部	既存配管
階段室灯【新設】	【新設: LSS1-2-15】

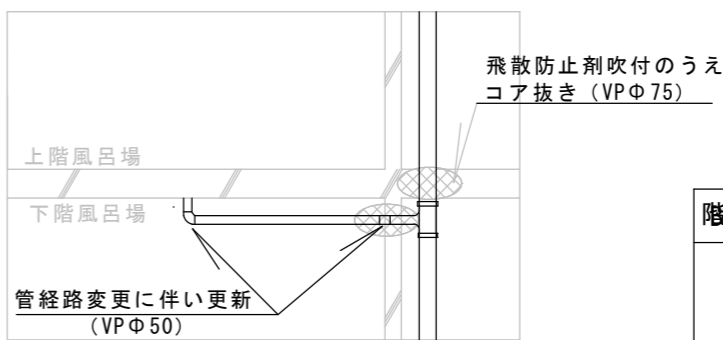
雑排水管 (流し台) イメージ図



雑排水管 (4階) 最上部 イメージ図



雑排水管 (浴室) イメージ図



階段室灯直付型20形「撤去」	16台
B' 階段室灯直付型20形	16台
<p>【新設: LSS1-2-15】</p>	